

令和5年9月定例教育委員会会議録

令和5年塩尻市教育委員会9月定例教育委員会が、令和5年9月21日、午後1時30分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 10月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について
報告第4号 学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について

4 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	徳 武 あ ゆ 子	委員	甕 剛
委員	八 島 思 保		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	太 田 文 和		
こども教育部次長 (教育総務課長)	熊 井 美 恵 子	生涯学習部次長 (社会教育スポーツ課長)	田 下 高 秋
教育総務課担当 課長	五 味 克 敏	平出博物館長	小 松 学
こども課長	竹 中 康 成	市民交流センター 長(図書館長)	上 條 史 生
家庭支援課長	植 野 敦 司	文化財課長	中 村 琴 江
主任学校教育指導 員	村 上 啓		

○ 事務局出席者

教育企画係長	佐 藤 智 樹
--------	---------

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。秋の交通安全運動が、本日 21 日から 30 日まで行われます。

その重点目標を見ますと、高齢者など歩行者の交通安全確保、2 つ目は夕暮れ時と夜間の交通事故防止、それから 3 つ目は自転車のヘルメット着用と交通ルールを守るという、大きな柱が 3 つあります。塩尻市の中学校では、自転車通学があります。ただヘルメットをかぶるだけではなくて、しっかり顎ひもをかけないとプラスの効果がないので、締めて安全を守ってほしいなということを感じます。

また、この秋以降は日没が早くなります。なかなかドライバーからは、人が急に出てくるような、怖い場面もあります。ドライバーはヘッドライトをつけてもらって、歩行者は反射板で相手に知らせるということも大事かなと思います。

たまたま昨日、いつもボランティアで立っていてくださる方と会いまして、こんなお話をお聞きしました。小学生が、帰り道通ってくると私のところに来て、ひまわりの種を 1 つくれた。おじさん、このひまわりの種まいてねと言ってくれた、それがとてもうれしかったと報告がありました。こんな交流をしながら歩いている子たちがいるのかな、見守っている方もいるのかなということを感じました。通学路は、本当に危険箇所がたくさんある場所ですので、悲惨な交通事故に遭わないように気をつけてほしいなということを感じました。

それでは、ただいまから 9 月定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願ひいたします。最初に報告案件ですが、1 件追加となりましたため、本日配付しました資料により次第を差し替えていただき、11 ページを追加していただきますようお願いいたします。また、今日、総合教育会議が 15 時からということになりますので、その前に終わるような形でお願ひしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 それでは次第に従いまして、2 番、前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

佐藤教育企画係長 前回、8 月定例教育委員会会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願ひいたします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願ひいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 3 番の教育長報告に入ります。私からは、2 点報告いたします。

1 点目は、中信地区高等学校定時制・通信制生徒生活体験発表会が、レザンホール中ホールで 9 月 7 日木曜日に行われました。夕方であります。私は、4 年前この体験発表会に参加しまして、体験発表の素晴らしさに見入ってしまいました。様々な背景の中で、定時制・通信制の高校に籍を置いて学業と仕事に真正面から向き合っただけで勤しんできた実践発表は、心を動かされます。そうした環境の中で、仲間や同僚とともに日々の生活を送りながら生きていくことの苦しさ、悩ましさ、また、楽しさ、喜びなどにつながる体験や経験を、さらには課題や壁にぶつかって跳ね返されて、それでも再度チャレンジして苦難を乗り越える、そうい

う経験など多くを積み重ねてきた体験発表の連続でありました。

今年度の発表の中から、定時制午後部生徒の発表のあらすじですけれども紹介したいと思います。

私は、希望を抱いて中学生に進学した。運動部活動にも入部した。練習にも積極的に取り組んで楽しい毎日だった。ところが、部活の練習の後の指導をきっかけに、部活動も学級へも足が遠のいていった。その後、少しずつ学校に行けるようになった3年生のとき、高校選択が迫ってきた。担任は親身になって相談に乗ってくれた。担任から、全日制だといずれ行けなくなるかもと声をかけられ、私は自分に合った進学先を見つけた。無事高校に合格し、部活動の練習を見学する機会があった。部員数は、男子5名、女子1名だけだったが、とても楽しそうに練習をしていてびっくりした。私は入部し、生徒会活動にも挑戦した。この4月、新入生男子5名、女子6名が入部し、全国大会に出場できた。結果は、1回戦敗退だった。二度とこのスポーツはできないと諦めていたが、定時制に通い、みんなで楽しみながら戦うことができたことがうれしくて涙があふれた。今後の希望は大学進学、まだまだ勉強不足を感じているが、目標に向かって頑張っていきたい。

こんな発表がありました。高校の先生方、保護者、友人に助けられながら、人との比較ではなく自分らしく自分の道を切り開いていく体験発表の姿を、私は、不登校や進学で悩んでいる中学生にぜひ聞いてほしいなということを感じております。

2点目です。塩尻市は、以前も話題になりましたが、甕委員から話題になりましたホームページのことなのですが、とても充実しているなということを感じます。ホームページで各学校を回りますと、思わず声を出して笑ってしまうような子どもたちの作品を写した写真だとか、担任のコメントが載っていました。

塩尻東小学校3年生のホームページです。タイトルは「アリの体のつくりはどうなっているかな?～3年生」。理科の授業で「アリの体のつくり」を想像して、それを粘土で作ってみました。どのような部分で体ができているのか、足は何本か、足はどこから生えているのかな、などと、いろいろなアリが完成しましたということで、写真が載っていました。顔の部分から足が2本出ていたり、あと、尻尾といいますか腹の部分からも出ていたり、様々な粘土の作品ができていました。

アリというのは、私たち普段見ているわけですがけれども、大変小さな虫なので、体のつくりがどうなっているのかということは、アリという形は分かるけれど体のつくりまでは子どもたちは分からないなと思います。昆虫というのは、頭と胸と腹、3つの部位からできています。そのことも子どもたちは、なかなか分かっていない。その6本の足は、どこから生えているのかということ。その子たちは、みんな粘土でアリを作るときに、あれ、どうなっているのだろうなということを考えて、困っているのかなということが想像できます。

理科の授業では、実際にアリを捕まえてきて、透明なガラス瓶、試験管の中に入れて動かないようにして見ながら、虫眼鏡を使って観察します。そこで、体のつくりってこうなっているんだということがまず分かって。今では、子どもたちが端末機器を持っていますので、アップで写して幾らでも拡大できてしまうのですね。模様や毛が生えている姿が見えてきます。

今度はアリの体のつくりが分かると、じゃあ蝶はどうなっているのだろうとかトンボはどうなっているのだろうと、子どもたちが様々な虫に興味を持つ。クモはどうなっているのだ

ろうと、子どもたちの学びが深まっていくところで、共通なものがある。それが昆虫だということ、自ら子どもたちが学んでいくわけです。

私も教員時代、アリやトンボの体のつくりを、粘土ではなくて絵で描いて、黒板に貼りながら分類したことを思い出しました。粘土を使うアイデアはなくて、さすがだなと思いました。不思議発見で、楽しい理解につながっていくと思います。各教科子どもたちがわくわくしながら勉強していく、すると楽しい学校、楽しい授業になっていくことを感じました。

ほかの学校のホームページも回っていきますと、運動会が終わったというメッセージがありました。「暑い中の運動会でしたが無事終了」、これは広丘小ですが、「児童会長の最後の言葉で運動会が無事終了。予期せぬとても暑い一日になり、不安もありましたが、なんとか最後まで行うことができました。ご参観いただいた地域の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。帰りがけに保護者から『とてもいい運動会でした。子どもたちがすごく活躍していました』という言葉いただきました。まさにその通りの一日でした。みんな素敵な姿でしたよ」というコメントがありました。

臨海学習に出かけた5年生。「イルカショーでは水面から高く飛ぶイルカに、みんな大きな拍手をおくっていました。待ちに待ったお買い物では、みんな頭の中で必死に計算していました。お家の人がどれなら喜んでくれるのか、一生懸命お土産を選んでいました。楽しい宿泊学習も終わりの時間に近付いてきました。みんな元気に、洗馬小へ向かいます」とコメントがありました。

桔梗小学校6年生の修学旅行の最後の写真は、おやつの写真が載っていました。メロンパンとクーリッシュのバニラが載っていました。恐らくトイレ休憩に立ち寄ったとき、そのサービスエリアで積み込まれたものなのかなと思います。お腹を空かせた子どもたちがバスの中でおやつを食べながら、修学旅行を振り返ったりとか家のことを思い出したりしているのかなと想像しました。

最後です、中学校のホームページ、塩嶺祭ポスターの候補作品です。スローガン、つながりを表現する、すばらしい作品ばかりです。ポスターのほかにも準備が進んでいます。きっと、全校の一人一人がつながる塩嶺祭になることでしょう。

このような記事が掲載されていました。運動会、臨海学習、修学旅行、そして間もなく始まる中学校の文化祭など、保育園も学校も様々な行事が予定通り進められているのだなということを感じました。

以上で、私からの報告は終わりにします。報告に関しましての御質問、御意見、実際にイベント等参加されました内容につきまして、委員の皆様からありましたらお願いしたいと思います。私からは以上です。では、よろしく申し上げます。

碓井教育長職務代理者 教育長から冒頭にお話がありましたけれども、例年、私はこの時季になると、夕暮れ時がどんどん早くなっていく状況がありますので、子どもたちの下校時の安全が気になります。児童生徒の皆さんは、安全管理をしっかりしたり、夜光反射材等を使ったりして、くれぐれも交通事故から身を守ってほしいと思っております。

次に9月18日の、日の出保育園増築棟開所式の関係についてであります。この開所式には、教育委員全員出席させていただきました。すばらしい施設ができてよかったなと思います。開所式のあと、施設見学も全員でさせていただきましたが、ゼロ歳児、1歳児、一時預かり室のほかに病後児保育室もあって、利用料金は若干かかるようではありますが、子どもが

病気のときに対応してもらえ施設が市内にできたということは、子育てしながら働く世帯にとって大きな支援になることと思います。

また、そのとき保育園の2階にある塩尻児童館も見学させていただきました。塩尻児童館は、児童クラブの登録者数が200名を超えるということです。今まで大変多くの子どもたちが利用していて手狭だったのが、日の出保育園の増築に伴って児童館として使用できるスペースが増えることになり、子どもたちの居場所として改善されてきていることを実感しました。

続いて、質問を2点お願いしたいと思います。1点目は保育園の関係ですけれども、最近、また県外で保育園送迎時に児童の重大な事故、園児の命が失われるという、とても不幸な事故が起きて報道されました。園への送迎は、保護者の方が責任を持ってやっていただくことが原則だろうと、そんなふうに思いますけれども、園で出欠確認がきちんとなされて保護者に連絡が行っていれば、このような事故については防げた可能性があるということも言われています。市内では、出欠確認はICT機器等を使って効率的、効果的にやっていると言っていますけれども、無断というか連絡もなく欠席したときの先生間の情報共有や保護者への連絡についてどのようにやっているのか、その辺のところをお聞かせいただければというふうに思います。

それから2点目は、不登校児童生徒の支援についてなのですが、7月定例会のときに教育長から、民間の塾と教育委員会と一緒に企画をし、不登校児童生徒の夏の学習支援プログラムが実施される予定であるというお話がありました。その後、このことについて、どんな取組がなされているのか、また、その他の取組等もあれば、その状況等を教えていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

赤羽教育長 関連して、ございますか。よろしいですか。

壘委員 関連というか、付け加えて。日の出保育園のことなのですが、こども教育部長にはお話しさせてもらったのですが、駐車場利用について。土曜日、日曜日なんかはイベント等で一般の方も使えるということなのですが、今の段階だと規制がないものですから、例えばあのくらいの大きさだとマイクロバスとかも入れるような大きさだったと思うので、今後トラブルとかないようにしていくことも想定しながら利用を考えたほうがいいかなと、ちょっと思っております。それだけです。

竹中こども課長 職務代理者からの質問についてですが、仮にシステムを介して欠席の連絡がないままに登園されなかったお子さんがいた場合には、まず保育士のほうで、システムで今日の出欠の状況を確認し不明な子どもがいた場合には、すぐに園長代理あるいは園長のほうに連絡をするとともに、家庭のほうに電話で確認をさせていただくという形になっております。

あと、日の出保育園の駐車場の関係でございますけれども、18日の午後から利用が開始されました。送迎にも19日から利用されております。バス等に関しては、入口が狭いものですから、大型バスは完全に無理な状況です。バス利用の際には、今までどおり消防署南側の砂利の駐車場を利用させていただくという御案内になるかと思います。今後、利用したいとの相談があった場合には、そうした案内をしてみたいと考えております。以上です。

赤羽教育長 この件に関しましては、碓井教育長職務代理、よろしいですか。

碓井教育長職務代理者 はい、いいです。

赤羽教育長 もう1点、不登校がらみで。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 民間団体との協力による不登校支援につきましては、不登校のお子さんの中には、しっかりと学力を身につけたいというお子さんもおりますので、多様な学びの機会としまして、本年度、試行的に広丘地区の学習塾と連携し、来年度の本格実施に向けた計画を進めている状況でございます。

碓井教育長職務代理者 では、まだ計画を進めている状況ということで、実際には行われていないということなのでしょうか。

村上主任学校教育指導員 広丘高出にあります塾と連携してということで企画をやらせていただきました。8月の末と9月の初めに2日間行っています。午前中の1時間から2時間くらいの時間を利用してということで、教育委員会からも不登校に対応する者がそちらと一緒に参加して様子を見させていただいています。1回目は、ボードゲームなどを行いながら関係づくりをとということで、2回目は個々に応じた学習支援ということで行っております。私は詳しい人数は分かりませんが、3名から4名のお子さんが、それぞれ御参加をいただいて、それぞれ個に応じた支援を受けています。また、その時の様子を教育委員会へ入れさせていただいて、今後の方法について今検討しているところでございます。

碓井教育長職務代理者 塾とやるわけですから費用とかはどうなのか、それから日常的に今後そういうことをやっていく方向での試行というような形で行われたということで理解してよろしいのでしょうか。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 継続していく方向で取り組んでおります。

碓井教育長職務代理者 子どもや保護者の皆さんの感想というか、そういう点はいかがでしょう。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 参加されたお子さんと保護者の感想については、今のところ把握できておりませんが、継続実施していく上で重要になってまいりますので、しっかり把握し取り組んでまいりたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 よろしくお願いたします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。では、続けて。

徳武委員 私は9月16日、先週の土曜日に久しぶりに宗賀小学校で地域公開参観日がありましたので行ってきました。その中で、2時間目の長い休み時間を使って学校保健委員会ということで、スクールカウンセラーの先生のお話を保護者が聞くという機会がありまして、そこに行って聞いてきました。

スクールカウンセラーの先生は、学校にお見えになる機会がそんなにないので、なかなかお会いできないものですから、とてもたくさんの保護者の方が参加されていて、また地域の方にどうぞ御参加くださいということで地域でも回覧板が回っていましたので、地域の方も大勢見えていました。それだけやはり多くの方が見えるということは、すごく関心の高いことで、皆さんなかなか日常会えないカウンセラーの方の話を少しでも聞いてみたいということがあるのではないかなと感じました。コロナの関係で、日常生活で子どもがどうしたらいいかという、その感情面のことでたくさんお話しいただいたのですけれども、こういうときはこうしたらいいのではないかというアドバイスを交えながら、先生はお話をしてくださいました。

授業参観のときに、こういう時間を設けて聞くということが、私は今まで経験がなかった

ものですから、とてもいい取組だなと感じました。なかなか個人で予約してスクールカウンセラーの先生に相談に行くというのが難しいので、機会を見てこういうのをどんどん設けてもらって話を聞くことで、少しでも自分の悩みの解決になるのではないかなということも思いました。地域の方も、とても興味深く皆さん聞いていらして、やはり子どもの成長段階に応じた発達について相談したいのではないかなというのをすごく感じました。また、こういう機会を是非設けていただきたいと思います。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。続けてお願いします。

審委員 9月10日に、こども未来塾リーダー研修会へ行ってきました。夏休み明けの総合テストや各部活動の大会、そして文化祭などで大変忙しい中、当日、塩尻中学校を除く市内の中学校のリーダーが集まり、一日を通してリーダーとしての必要な力や大事なことを考える研修会でした。私はその中で、リーダーとしての役割とやりがいということで、お話をさせていただきました。その後、市長を交え中学生との対談を行いました。今、生徒たちが行っている立場での悩み、将来の夢、また自分自身の生き方の不安など、たくさんの意見や質問をいただき、生徒たちの生の声が聞け、対談できたことが、とても有意義な時間となりました。そして、なってほしいと思っています。生徒たちからの感想など、お聞かせ願えたらありがたいと思います。そして、またこのような機会には進んで参加したいので、今後ともよろしく願いいたします。

もう1点、よろしいですか。先ほど教育長の報告にもございました、この9月に運動会を開催した学校、修学旅行に臨海学習、それからこれから開催される文化祭、開校記念式典など行う学校等、各学校のホームページより発信される内容に、私も毎日わくわくしながら拝見させていただいております。その中で2点。

まず1点目ですが、先日12日に西小ライブとして松本蟻ヶ崎高校の鳥谷越浩子校長先生にお越しいただき、ライブを開催いたしました。また16日には土曜参観日としてPTA講演会、子育てパネルディスカッション、西小ライブ、授業参観と半日をかけて開催しました。両日共、子どもたちへのきっかけづくり、子どもたちについて考えるきっかけなどを、児童、先生、保護者、地域の方、みんなで共有できたと感じています。両日の様子は、西小ホームページよりYouTubeで視聴できるようになっておりますので、皆さんにも御覧いただきたいと思います。また、百瀬市長、樋口議員、平間議員、池上先生、八島委員にもお越しいただき、ありがとうございました。

2点目になりますが、そのホームページの中で自分が楽しみにしているのが、丘中学校の学年通信と吉田小学校の給食掲示板なのです。特に、この吉田小学校の給食掲示板はすごく興味が湧くものとなっております、何が違うのかと言うと、完成された給食の写真だけではなく、調理工程の写真がついているのです。見てもらうとすごく面白いのですが、ピーマンの肉詰めを作るときに、普通ピーマンにこうやって肉詰めするじゃないですか。逆なのです。肉を敷いて、そこにピーマンを乗せていくという調理工程。こういうのは、あまり見たことがなくて、自分たちが食べるものがこんなふうにして作られているのだとかいうのも、すごく面白いなと思っていますので、皆さんそうやって工夫してホームページに載せていただけるとうれしいなと思います。保護者の方々も、学校の給食の調理員の皆さんが、こうやって工夫して作ってくれているということが、すごくよく分かると思うので、もう少し広めたいなと思っています。以上です

赤羽教育長 吉田小はとても喜ぶと思いますし、ぜひ西小ライブも御覧ください。ありがとうございました。質問とかは、よろしいですか。

壺委員 ないです。大丈夫です。

赤羽教育長 リーダー研修会の感想は、きっとできていると思うので、また後でよろしくお願ひします。では、続いて八島委員、お願ひします。

八島委員 私は9月3日に行われた、ひらいで遺跡まつりと、9月16日に広丘地区2校の小学校で開催された運動会を見学させていただきました。ひらいで遺跡まつりについては、炎天下でありましたが、大勢の方が参加されていました。大盛況であったと感じています。

1点少し残念だったなと感じたことは、駐車場関係です。出入口には警備員は配置は二、三名であったと記憶していますが、駐車場内での誘導の方は全くいらっしゃらない状況でした。また、駐車スペースの印がある部分と、全く印のない部分もあり、ひらいで遺跡の地面は凹凸があり、車の走行や駐車選択など、多少難しかったかなと感じました。歩行者もあちらこちらとまちまちに歩かれていたので、駐車内の安全面は配慮が足りなかったと感じました。

運動会につきましては、2校とも全児童が収まるような形でテントを張られていた熱中症対策が今年度の特徴だったかなと感じています。ほてった体を一時的にでも日陰に避難させ、体を冷やすということができたことによって、競技によるパフォーマンスや応援も体調不良なく実施できたのではないかなと思います。とても感動的で、大勢の方が応援に来ていらっしやいましたし、6年生の組体操は特に感動的なシーンだったと感じました。

別件で質問させていただきますが、9月12日の市民タイムスを閲読させていただきました。9月の市議会の一般質問で、石井議員が子どもの居場所づくりの推進について質問、答弁されています。その際、子どもの居場所づくり事業補助金制度に対して質問されているのですが、教育部長太田さんの返答の中で、食事提供と学習支援の提供に対して補助金を交付しているというような答弁があったと思います。この学習支援というのは、勉強をする場所であるイメージでよろしいのでしょうか。

世間一般に学習というもののイメージは、どうしても勉強をするところと言った印象が高いと感じますが、学習には本来、価値観、経験、心理、行動等、様々なことに対して成長発育していくことを指す支援であると思います。ですので子どもの居場所づくりの補助金申請は、空間内に勉強をさせていなくとも、発育全般支援として、子どもたちが集まれる場所であるならば、補助金を交付されるということでもよろしいですか。

植野家庭支援課長 子どもの居場所づくり事業補助金という形で補助金を広く見えています。その1つが、いわゆるこども食堂のような食事を提供する居場所、もう1つが、学習の支援による居場所づくりということで、学習の支援の中身については、必ず教え込むというような、そういう学習を想定しているものではなくて、学校の宿題をやってもらってもいいというところはございます。今、行われているものについては、主にはやはり宿題ですとかそういったものを一緒にやったりとか、学年もばらばらだったりするので、そういったところでやっています。

ただ、どこまでを学習として含んでいるかということに関しては、こちらのほうでも悩ましいところも実際あったりしまして、あと市内のお子さんの人数とか、回数とかそういったところも、一応決まりを設けております。基本的には、子どもが居場所として週に月に1回

とか2回とか、学習支援に関しては、1回とか2回の場合。今やっているところでは、週2回とか、そういう感じではあるのですけれども、居場所して機能が整っているということと、今のところは学習面でも、あまり大きく範囲を広げてはいないのですけれども、そういったところは個々の状況を見ながら判断させていただいているところでもあります。なので、具体的にこういうことをされていて、対象者がどういう方とということでは御相談いただければ、要綱と照らし合わせながら補助したいなというふうに。

八島委員 発育・養育支援であれば、子どもの居場所とした学習支援の補助金が交付できるということではよろしいですか。

植野家庭支援課長 居場所の補助金なので、学習をことさら強調していないのですけれども、カテゴリーの分けとして、無料の塾であったりとか子ども食堂を想定して制度設計したので、今現在、そういうほうに寄せてつくられているのが実際のところではあります。

あと、小中学校の夏休みですとか冬休みに、どうしても居場所が不足するので、その時期に開催してほしいということであったり、子どもの保護者の相談に乗ってくださることもお願いしてたりとか、料金が無料であるところと、教材費がいるということもあります。年齢に関しては特に制限は、小学生以下はだめだとか、そういうことまでは載っていないのですけれども。今の要綱だけで全部見られるかどうかというところは正直ありますので、御相談いただきながら場合によっては要綱の見直しをする必要もあるかもしれませんし、考えていかないといけないかなとは思っています。

八島委員 食事の提供と学習支援の名称でのくくりであると、勉強をするための子どもの居場所に対して補助金を交付して下さる場所であるイメージに取られやすいと感じますので、学習の定義には、様々な要素が入っていると発信をしていただいた方が、より理解されやすいと思います。

植野家庭支援課長 学習というところでくりにくいところもあるのですが、考えていかないといけないかなとは思っていますけれども、多様な学びというところで必ずしも学校の勉強だけに限定するわけではないということは今も対応はしているところではあります。

八島委員 ありがとうございました。

赤羽教育長 小松館長、ひらいで遺跡まつりのことでもし何かあればお願いします。

小松平出博物館長 ありがとうございました。八島委員のほうから御指摘いただきました駐車場の問題につきましては、4年ぶりの開催ということで、どれだけの人が来るかということとはなかなか読めない状況、その中でもう1点、今回は後ほどの行事報告にもありますけれども、宗賀小学校の金管バンド、西小の吹奏楽の方々もいらっしゃったということで、かなりその子どもたちの送迎、関係者のほうも含め、機材の搬入とかでちょっと交通事情のほうで麻痺した部分もありました。

しかし、遺跡まつりにつきましては、基本的にはボランティア団体の皆様の作業の中で成り立っている事業でありまして、4年前のときに比べまして高齢化によりまして多分半数くらい人数が減っているという状況、その中で各ブースも担当して、なおかつ駐車場も担当するというところで、駐車場のほうに人手が前回よりは行き渡らなかったということが今回大きな課題で、次回の開催に向けまして検討をさせていただきたいと思っております。

赤羽教育長 そのほかよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、次のほうに行きたいと思います。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 報告第1号、主な行事等報告についてお願いします。資料1ページから7ページです。事務局から主要な行事について説明をお願いいたします。

上條市民交流センター長（図書館長） まず2ページ、下段です。8月19日土曜日、令和5年度塩尻市中学校ビブリオバトル大会を開催いたしました。教育総務課の企画で私どももお手伝いをして、えんぱ一くで市内中学生13人によるビブリオバトル大会という初の試みでございます。中学生が自ら本を紹介することによって周りに読書の楽しさ、読書の幅を広げようという効果を期待して開催いたしました。学校関係者、保護者ほか98人の見学を得まして、有意義な会となりました。チャンプ本を紹介した生徒は11月の県大会に推薦されます。

続きまして6ページ、中段、企画展「明日へ伝える昭和の戦争」です。毎年8月15日の終戦記念日前後に企画している企画展でございます。今回は中央公民館が作成した資料、また、総合文化センターの3階にあります公文書館準備室の資料などを併せて展示いたしました。平和について考えるよい機会になりました。そのほか図書館、市民交流センター関係の行事は記載してあるとおりでですので御確認ください。私からは以上です。

小松平出博物館長 続きまして7ページの中段を御覧ください。先ほど少しお話ししましたように、9月3日に第20回ひらいで遺跡まつりが平出遺跡公園で開催されました。4年ぶりの開催ということで、想像以上に多くの来場者がありまして、こちらとしてもほっとしているところがございます。内容的にも火おこしや弓矢飛ばし、ジャグリング体験など様々な体験を中心としたコーナーを設けまして、参加者も楽しんでいただいていたのではないかと考えております。また、そちらの会場に吹奏楽の関係で宗賀小、塩尻西部中の皆さんにも演奏いただいたということで、またまつりが一段と盛り上がったというふうに感じております。

その他にもありますけれども、駐車場の確保、こちらのほうにつきましては、非常に大きな課題ということで、次年度以降解決に向けて策を練っていきたいなと考えております。以上です。

赤羽教育長 以上でよろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

八島委員 先ほどのビブリオ大会、私も拝聴させていただきました。一番よかったなと感じた点は、広陵中の3年生女子生徒で、「もしあと1年で人生が終わるとしたら」をチャンプ本として御紹介してくださった方です。彼女は緊張のあまりに言葉を詰まらせてしまい、幾度もの沈黙の時間がありました。それでも一生懸命に頭の中を整理しながら自分の思いを伝えようと言葉を思い出しながら発表を続けました。

残念ながら予選通過とはいきませんでした。彼女がなぜその本を選んだのか。その思いに、受験生であり、受験の期間はすごく嫌で、思いどおりにならない自分とどう向き合っていけばよいか。考えたそうです。

もし、自分の人生があと1年であるのなら、今の自分にある不安や怖さ後悔など、全ての感情をプラスに変えて素直な自分になれるのではないかと思います。この本を選択したと語っていました。

大衆での演説で言葉を失い、思いの丈を伝えられなかったことは、とても無念だったと感じま

すが、それでも一生懸命言葉をつなげながら発表している彼女の姿に、私はとても感銘を受け、感動しました。内面からあふれ出てくる自分との葛藤を何とか打破したい、自分を変えたい受験生であり思春期である彼女の心情が上手くいかなかったとしても、表現としての純粹さに感動しました。とても良い大会であり、ぜひビブリオ大会など新しい活動も地域部活動として、新しい選択肢になっていければ良いと感じました。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。続けて。

徳武委員 私も今のビブリオバトル行ってきました。私も初めてだったのですが、今、八島委員おっしゃったように興味深くて、紹介された本を私も思わず本当に読んでみたいなって本当に思いました。皆さん難しい本を上手に、言葉だけじゃなくて体も使って表現しているというところにすごいなと思いましたし、本当に中学生かなと思うほど語彙力も多かったですし、思いが伝わってくるというのはこういうことかなと思いました。各学校から数名ずつ出ていると思うのですが、どういう経緯でこの大会に出たのかというのが興味深いところでもありますし、またぜひ中学生もそうですけど、例えば小学生とか高校生でやったら面白いのではないかなというのを感じました。

あと、ひらいで遺跡まつり、これも行ってきたのですが、近所の小学生と一緒にクイズラリーを回ったのですが、すごく面白かったです。それを一周すると遺跡公園をほとんど全部回れるような仕組みになっていて、とても子ども達は喜んでいました。最後に全問正解したら黒曜石がもらえたよって連絡をいただいて、また黒曜石ってプレゼントがすごく素敵だなと思って、遺跡公園のいろんなところを巡って最後に黒曜石をもらってうれしそうに帰っていったという姿がとても印象的でした。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。参加人数 4,000 人も来て、みんな楽しみにしていたんだなと感じました。そのほかよろしいでしょうか。

ありがとうございます。ないようですので、次に進みたいと思います。

○報告第 2 号 10 月の行事予定等について

赤羽教育長 それでは、報告第 2 号、10 月の行事予定等についてお願いいたします。資料は 8 ページです。全員に関わるものとして 16 日の御野立記念祭、26 日、定例教育委員会・協議会、27 日、長野県市町村教育委員会研修総会がありますので皆さんの出席をお願いいたします。内容を見ていただきまして、質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、次に進みます。

○報告第 3 号 後援・共催について

赤羽教育長 報告第 3 号、後援・共催についてお願いいたします。資料 9 ページ、10 ページです。見ていただきまして、御質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

○報告第 4 号 学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について

赤羽教育長 続きまして、報告第 4 号です。学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について、資料 11 ページ、事務局から説明をお願いします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分

について報告いたします。民生児童委員の辞任に伴いまして、塩尻西小学校及び塩尻中学校から学校運営協議会委員辞任申出書が、塩尻中学校から学校運営協議会委員推薦書が提出され、委員の辞任及び任命を決定しましたので、報告するものでございます。教育長専決日は、令和5年7月31日。旧委員の辞任日は、令和5年7月31日。後任の委員の任期は、令和5年8月1日から令和6年3月31日まででございます。現在の委員の内訳につきましては、2名の委員が辞任となり、新たに1名が任命になりましたので、新体制の運営協議会委員の人数は290名となります。説明は以上でございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。報告のとおり御承知おきください。

それでは、本日予定しておりました案件は以上ですが、そのほかに委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

4 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして、9月定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後2時25分に閉会する。

以上

令和5年10月26日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教 育 企 画 係 長
